



# 鈴鹿医科大・薬学部新設に 市費9億円

## 旧NTT研修センター跡地に設置

# すずか民報

第125号  
2007年7月15日

日本共産党鈴鹿市議団  
市議会の報告

南玉垣町の旧NTT研修センター(旧電通学園)跡地に、鈴鹿医療科学大学が薬学部を新設する計画がすすんでいます。センター跡地33ヘクタール

ルのうち8.5ヘクタールの土地と、既設の校舎を利用するもので、市中心部の広大な跡地の活用という課題については一歩前進です。

### なぜ2割・9億円なのか？ 議論も不十分のまま



改選後初の6月議会に川岸市長は、この薬学部新設に補正予算で市として9億円(3億円ずつ3年間の補助金を提案しました。

は、市民の声も聞いて十分な議論を尽くすことを主張、補正予算には反対しました。

必要経費約46億円の2割という高額の助成(別表)に、議会では異論が続出しましたが、最終的に賛成多数で通りました。

日本共産党市議団は、①鈴鹿医科大には誘致の時(平成3年)にすでに33億円もの助成をされていること、②いま「財政がきびしい」と市民のための施策も抑えている中で、基金を取り崩してまでして予定外の9億円もの出費をすることは認められない、③出すにしても2割は多すぎる、県の出す1割を上限にすべき、④またいきなり議決を迫るので

### 鈴鹿医療科学大学薬学部設立の経費について

#### ■事業費の財源内訳

項目	金額(百万円)
市補助金(20%)	900
県補助金(10%)	467
自己資金	1,306
借入金	2,000
合計	4,673

#### ■薬学部設置事業費の内訳

項目	事業費(百万円)
建物購入費	383
建物改修費	2,210
備品購入費	2,030
図書購入費	50
合計	4,673

森川議員は、目的は違っても市民はひとつの財布から払うので、市民税の増えた分を国保税で引き下げなければ市民は暮らしていけないと、川岸市長の決断をせまりました。

6月議会で森川ヤスエ議員は、苦しむ市民の負担を少しでも軽くするために、国保税の引き下げを求めました。国保加入世帯の約半数は年金生活者で、平均収入は146万円、加入者全体の平均所得も163万円と低いままなのに、市民税・介護保険料、国保税を合わせた負担は増える一方です。(別表)

この6月、市民税が大幅に増税となり、納付通知が届いてから1週間ほど、市役所の税務窓口には市民からの問合せが殺到しました。とくに高齢者、年金生活者には、「何かのまちがいで」は「一年寄りのいじめだ」「どうして暮らせというのか」など悲痛な声が寄せられています。

# 今なお高い 国保税の引き下げを 増税・負担増で市民のくらしは危機

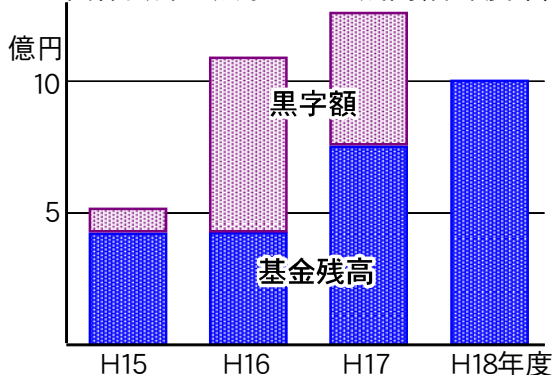
## 10億円もある基金 を使えば出来る

川岸市長は、世帯の所得が減り負担が増えていることは認めるものの、国保財政の健全運営を理由として、引き下げには応じない態度でした。

森川議員は、鈴鹿市の国保税が依然として県下3位という高さであること、基金残高が10億円もあることを示し、「貯めるばかりが能ではない。引き下げに使うべき」と批判しました。



#### ■国保会計の黒字・基金残高(各年度末)



#### ■市民の負担増の事例

(65才の夫婦・年金収入240万円の世帯。単位:円)

	H17年	H18年	H19年
市県民税	0	19,300	35,000
国保税	126,940	125,280	129,600
介護保険料	55,400	107,730	107,730
合計	182,340	252,310	272,330



### 今期も がんばります



日本共産党鈴鹿市議団

石田 秀三 TEL 371-0423  
鈴鹿市伊船町2751

森川ヤスエ TEL 384-3740  
鈴鹿市矢橋3丁目10-34

生活相談など  
お気軽に連絡下さい

# 非正規の先生が2割も

## 小中学校の非常勤講師の待遇改善を

今年から鈴鹿市教委は「少人数学級」を全小中学校ですすめるために、市費での非常勤講師を多く採用しています。いま学校には、

正規の教員と、1年ごとの常勤講師、時間給の非常勤講師という3種類の先生がいて、やつと学校がまわっている状態です。管理職をのぞく教員1025人のうち205人、実に5人に1人が非正規の先生となつて

年収は200万円に届かず、生活の保証なし

石田議員は6月議会一般質問で、とくに急増した非常勤講師の待遇について質問しました。非常勤講師の時間給は2550円、2790円と、一見よくみえますが、勤務が週9、16時間に限定されていて、また夏休みなどは無給なので、最高でも年収200万円に届きません。社会保険にも加入できず、独立した生活は

とても保証されません。また、打ち合わせや準備の時間は、時給が授業の「半額」になるという理不尽な格差もあります。石田議員は、先生たちが意欲をもって仕事ができるための待遇改善を求めました。教育長は「市費の講師は県費講師の待遇に合わせている。県に改善を働きかける」と答えました。

■鈴鹿市の小中学校教員の職種別人員(H19.5.1現在)

	小学校	中学校	合計
管理職	62	22	84
教諭	545	275	820
常勤講師	36	41	77
県非常勤	30	20	50
市非常勤	52	26	78
合計	725	384	1,109

森川議員は、鈴鹿市が参加した目的や結果の利用のありです。



森川ヤスエ 市議

## 全国一斉学力テスト

### 競争をあおらないか

4月24日、文部科学省による「全国一斉学力テスト」が行なわれ、鈴鹿市も全市の小6と中3の児童生徒がテストを受けました。学力テストは、学校や個人に全国順位をつけて、成績や順位を上げるための過度の競争をあおるとの強い批判があります。

森川議員は、鈴鹿市が参加した目的や結果の利用のありです。



石田秀三 市議



## 海外視察は

### 見直すべき

市民から何かと批判の声が多い、議員の海外視察。三重県議会は改選後の5月、これまで毎年行っていた海外視察をやめると決めました。ところが、鈴鹿市を含む市議会議長会は、今後とも視察をつづける姿勢です。

州)に2名、日中友好議員連盟が行なう中国視察に2名が順次参加する予定になっています。共産党市議団は、これまで一度も参加していません。また各会派の会合でも、見直し・中止を求めています。

一人60万円もの費用を使う視察で、鈴鹿市の行政や議会活動にどれほどのメリットがあるのでしょうか。日々の暮らしも大変な市民を思えば、県議会のようにキツパリやめるべきです。

## 9月から 子どもの医療費無料 就学前まで引き上げ

これまで3才児までだった鈴鹿市の乳幼児医療費無料制度が、就学前(6才)になった3月末)までに引き上げられます。6月議会では、9月1日から実施となります。

審議の中で石田議員は、「県も来年9月をメドに引き上げを検討していると聞くが、その場合には鈴鹿市はさらに引き上げを」と注文をつけました。

「子育て支援」策として、